

本時の学習（本時は全30時間中の1時間目）

1 学習目標

大間々町を活性化するための活動を行うことをつかむ。

大間々町の人々の願いを調べる方法を考える。

2 準備・資料

追究プリント1、前学習のテーマ一覧、

カード「大間々町活性化プロジェクト」「～の人、百人に聞きました。」

「～について、百人に聞きました。」

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の目標を知る。	5	「大間々町活性化プロジェクト」と題して、これからの学習についての具体的な計画をつかめるようする。	
2. 町を活性化するために町の人々の願いについて考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・前テーマを振り返り、政治や産業、経済等の視点から、本当に実現できそうか検討させる。 ・具体的な例示を示して、検討する視点や手法を身に付けさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">町の人は、本当はどんなことを望んでいるのかな？</div>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに、大間々町の活性化に望んでいることを考える。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生や大人、商店街の人、福祉にかかわる人、お年寄りや子どもなどのそれぞれの立場に立って考えられるようにする。 ・ブレインストーミング法を用いることにより、思考を広げられるようにする。 ・ほかの意見を積極的に取り入れて、よりよいものにしていく意識を持たせる。 	
3. 町の人々の願いを調べる方法を考える。			
<ul style="list-style-type: none"> ・調べる方法を自分なりに考える。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">どうしたら町の人々の願いを知ることができるかな？ 調べる方法を三つ以上考えてください。</div>	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に自分で調べる方法を考えさせるために、評価基準の視点を示して、目標をもち自己評価をさせながら考えさせるようにする。 想定する調べ方例 <ul style="list-style-type: none"> ・街頭インタビュー・アンケート・電話聞き取り調査 ・自分の考えつかなかった方法をプリントに記入させておく。 ・追究プリント1において、町の人々の意見を調べる方法が三つ以上考えることができない時は、今までの調査の方法を思い出せるようにする。また、全体での発表で気が付いたことを記入できるようにする。 	大間々町の人々の願いを知るための方法を積極的に考えている。 関心・意欲 追究プリント1
4. 調査対象や調査項目を考える。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・「～の人、百人に聞きました。」、「～について、百人に聞きました。」の二つのカードを示して、「～」に当てはまる調査対象と調査項目を考えられるようにする。 調査対象 <ul style="list-style-type: none"> 商店街 福祉関係者、お年寄り、年齢別、性別ごとの町民など 調査項目 <ul style="list-style-type: none"> 大間々町に望むこと、大間々町の課題、大間々町のよいところなど ・ブレインストーミング法を用いることにより、思考を広げられるようにする。 ・ほかの意見を積極的に取り入れて、よりよいものにしていく意識を持たせる。 	
5. 本時の評価と次時の確認をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・追究プリント1で本時について、自己評価を行うようにする。 ・次時に調査の計画をすることを知らせる。 	

本時の学習（本時は全30時間中の2時間目）

1 学習目標

大間々町の人々の願いを調べるための計画を具体的に考える。

2 準備・資料

追究プリント2、電話のかけ方の手引、アンケート作成の手引

学校長の依頼書、封筒、コンピュータ、用紙

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の目標を知る。 2. 調査の計画を立てる。	3	・前時であげられた調査対象と調査項目を確認しながら、本時では、調査計画を立てることを知らせる。	
<p>学級で協力して、大間々町の人々の願いを調べる計画を考えましょう。</p>			
学級で、調査対象や調査項目を考え、表にする。 調査の分担を行う。 自分の調査について、具体的に計画をする。 調査計画の許可をとる。	2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・追究プリント2を用いて、調査対象と調査項目として何を取り上げるかを生徒一人一人に考えさせるようにする。 ・表を用いて、学級で話し合った調査対象、調査項目を整理し、調査を分担させるようにする。 ・追究プリント2に、自分が行う調査について、具体的に計画を考えさせるようにする。 ・具体的な計画では、目的、内容、対象、理由、時間、方法をしっかりとらえられるようにさせる。 ・目標を持ち、具体的な計画を立てることができるよう、評価基準の視点を示して、目標を持ちながら考えさせるようにする。 ・追究プリント2において、計画がうまく立てられない生徒には、具体的な行動に視点を当てて話し合うようにして計画を明確にできるようにする。 ・2週間後までに、調査が終わるように日時を示し、そのためには、次の授業の時間以外にも、必要であれば、調査を行ってもよいことを知らせる。 ・自転車を使用したり、公共の場所での調査、事業所等での調査など、調査をするときには、学校や相手方に事前に連絡をして許可を取る場合があること、校長先生からの依頼書や学校からの連絡が必要な場合があることを知らせて、計画を考えるようにさせる。 ・校外での調査が考えられるので、調査計画には、複数の職員の許可を得るような欄を用意し、事務手続の確認やトラブル、事故が起きないように事前に把握しておくようにする。 ・学年の職員で分担をしておき、早く計画のできた生徒には、次の3の学習に取り組みせるようにし、計画ができない生徒には、個別に指導を行うようにする。 	調査に向けて、具体的な計画を立てることができる。 技能・表現 追究プリント2
3. 調査の準備をする。 調査書を作成する。 電話による事前の確認をする。 学校長からの依頼書の準備をする。 アンケートを作成する。	2 0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長から依頼書と封筒を用意しておき、必要な生徒には渡せるようにする。 ・調査依頼の電話のかけ方についての例示を用意しておき、スムーズに電話がかけられるようする。 ・アンケート用紙作成の手引を用意しておき、個人情報などにも注意を払うことなど必要性、相手の方への配慮等にも注意させるようにする。 ・学習時間以外にも、連絡や確認のための活動を行ってもよいことを話す。 	
5. 本時の評価と次時の確認をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・追究プリント2で本時について、自己評価を行うようにする。 ・次時は、調査を実施することを知らせる。 	

学級の調査計画を確認し、事前の許可を必要とする場合は、連絡を入れる。

来週は、昼休みに帰りの学活を行い、午後の時間の確保ができるように、学校長、担当職員と連絡調整を図り、生徒、保護者への連絡を行う。

校外での活動において、安全面での配慮、担当職員の配置等の計画を行う。

本時の学習（本時は全30時間中の3・4時間目）

- 1 学習目標
大間々町の様々な立場の人々の願いを調べる。
- 2 準備・資料
追究プリント3、総合的な学習活動認識票（名札）
- 3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1．本時の目標を知る。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容や目的を確認させる。 ・事故などに注意して、安全に活動できるように話す。 ・相手のいる場合は、礼儀や言葉使いなどに注意して、活動するように話す。 	
2．調査をする。		<p>みんなで、大間々町の人、百人にインタビューしてきてください。</p>	
<p>町内の商店街を回り、アンケートやインタビューを行う。</p> <p>ショッピングモールでアンケート調査やインタビューを行う。</p> <p>事業所や施設に行き、アンケートを配る。集める。</p> <p>駅や公共の場でアンケート調査やインタビューを行う。</p>	90	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の調査計画をもとに、生徒の安全確認や活動の様子を知るために担当職員が分担をして巡回する。 ・アンケートやインタビューを実施する場合は、事前に連絡を取るようにする。 ・活動中の認識票を準備して、学習活動の一つであることを意識させるとともに、地域の人たちにも認識してもらるようにする。 ・早く終わったものには、学校に戻り、資料の整理を行ってもよいことを伝える。 ・追究プリント3では100人を目標とするが50人の調査が終わらない場合は、放課後や土・日を使って調べることができるようにする。 	<p>大間々町の現状と課題を調査計画どおりに調べることができる。</p> <p>技能・表現 追究プリント3</p>
3．調査終了の報告をする。 学校に戻ってきて、連絡をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・4：30までに、終了 ・担当職員が町内と学校で連絡を取り合い、生徒全員の活動終了を確認する。 	

昼休みに帰りの学活を行い、午後の時間の確保ができるようにする。
校外での活動において、安全面での配慮、担当職員の巡回を行う。
最終連絡を確認して、全員の安全を保つようにする。

本時の学習（本時は全30時間中の5・6時間目）

1 学習目標

大間々町の長所や問題などの調べた内容を分かりやすくまとめる。

2 準備・資料

追究プリント4、プレゼンテーション例示資料、コンピュータ、画用紙、TP用紙など
細字用フェルトペン、プレゼンテーションソフト

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の目標を知る。 2. 調べた資料をもとに大間々町の人々の願いを焦点化する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてきた内容をまとめ、相手に分かりやすく伝えるように工夫することを話す。 ・調べてきた大間々町の人々の願いや問題などを集計する。 ・自分たちで聞いてきたことの中から、重要な意見や大切な意見に注意しながら、まとめられるようにする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 大間々町の人はどうな願いをもっているのかを まとめて分かりやすく発表できるようにしよう </div>			
3. 大間々町の特長や問題等を相手に分かりやすく伝えられるように画用紙にまとめる。	80	<ul style="list-style-type: none"> ・多数意見のものが大切であるが、少数意見の中にもよい意見があることを話す。 ・意見をまとめるのに、表やグラフを使うと分かりやすくなることを気付かせる。(数学) ・表やグラフ化、文字の大きさ、文字の配置、提示の方法などの工夫を行い、相手に分かりやすく伝えられるようにする。 ・プレゼンテーションの工夫について、例示をもとに相手に効果的に伝えられるように考えることを知らせる。 ・プレゼンテーションソフト、模造紙、画用紙などを使って、三つ以上の工夫を行えるようにする。 ・時間配分についても、事前に伝えて時間内にまとめられることの大切さについても知らせるようにする。 	調べたデータをもとに特長や問題点を選び出すことができる。 技能・表現 発表資料
4. 追究プリント4を使い、調べ学習を振り返る。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・大間々町の人々の願いや課題等を調べて集計する中で、自分が感じたこと、学んだことを評価基準を示しながら、記入するようにする。 	地域を支える活動の大切さや難しさ、それらに込められた人々の思いや願いを理解することができる。 知識・理解 追究プリント4
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 大間々町の人々の意見を聞いて、感じたことや学んだことを書いてみよう。 </div>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・追究プリント4で町の人々の願いや思いに気が付けない場合は、調査の時の様子を振り返ったり、発表した内容の言葉に着目したりできるようにする。 	

コンピュータ室でプレゼンテーションソフトを使い、それ以外の方法で発表する場合は、教室での学習ができるようにする。(教員の配置などを計画する。)

本時の学習（本時は全30時間中の8時間目）

1 学習目標

大間々町の人々の願いや課題を解決するためのプロジェクトを考える。

2 準備・資料

追究プリント6、地域活性化の取組資料、前回資料

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。 2. 解決しようとする事柄を考える。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・大間々町に人々の願いを自分たちの力で解決することを話す。 ・いくつもの課題や願いの中から自分で何を解決しようとするのかを考えるようにする。 	
<p>大間々町の人々の願いから、大間々町を活性化するためにわれわれはどんなことに取り組んだらいいのだろうか。 大間々町活性化プロジェクトを考えよう。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表する。 <p>3. 解決しようとする事柄についての解決の方法を考える。</p> <p>4. 調べる計画を立てる。</p>	40	<ul style="list-style-type: none"> ・大間々町の人々の中から、自分が解決してみたいと思うものをいくつか考えて、発表して意見交換ができるようにする。 ・大間々町の活性化に向けて、数多くのアイデアを考えて、自分にとってやりがいのあるものを取り入れるようにする。 ・友達の意見も聞きながら、大間々町のために自分がやってみようと思うことを考える。 ・自分の考えをブレインストーミング法やKJ法等を用いて、考えるようにする。 ・同じような考えの友達とグループを作るようにする。 ・自分の考えだけでなく、ほかの市町村や団体等の取組やその成功例などを例示して、参考にするようにする。 ・自分の考えを深めるためには、例示した参考例を取材したり、インターネットで調べたりすることが大切であることに気付くようにする。 ・自分で調べてみたい事柄について、選び出し、取材を計画できるようにする。 ・必要に応じて、連絡をする必要があることに気付くようにする。 ・追究プリント6につまずく生徒では、大間々町の特長や問題点を課題を焦点化して具体的な方法が考えられるようにする。 	<p>地域の活性化に向けて、解決方法を積極的に考えることができる。 思考・判断 追究プリント6</p>
5. 次時について話を聞く。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、解決する方法について調べたり、考えたりすることを伝える。 	

本時の学習（本時は全30時間中の9～14時間目）

- 1 学習目標
政治・経済・産業面に注意しながら、実現性の高い大間々町活性化プロジェクトの計画を立てる。
- 2 準備・資料
追究プリント7、調査用資料
- 3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。 2. 大間々町活性化プロジェクトを計画する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の調査にかかわる準備を行うことを話す。 ・自分の考えの参考になる例をもとに、取材やインタビューなどを行い、活性化プロジェクトを計画するようにする。 	
取材や調査をもとにして、大間々町活性化プロジェクトを計画しましょう。			
<ul style="list-style-type: none"> ・近くの市町村に取材に行く。 ・電話によって取材をおこなう。 ・インターネットで調べる。 	280	<ul style="list-style-type: none"> ・現地取材、電話取材、インターネットによる調査などを行い、自分たちの考えるプロジェクトの参考にできるようにする。 ・自分で連絡をしておいた施設や場所へ移動して、取材を行うようにする。 ・コンピュータ室を自由に使えるようにしておく。 ・電話による取材も考えられるので、電話の確保もしておく。 ・プロジェクトの計画に向けては、政治や経済、産業面に目を向けさせるようにする。 ・経済面では、プロジェクトにおける費用についても検討し、費用のかからないものや費用をどのように生み出していくかなどの視点にも注意できるようにする。 ・政治面では、過去の大間々中学校の提言書などと同様に大間々町役場や大間々町議会に提言を行うことも必要となる。 ・産業面については、商工会議所の取材をしておくことも必要となる。 ・県や市町村においては、都市計画マスタープランを作成し、町の活性化を図る計画が提案されているので、これらを参考にするようにする。 ・むらまちネット、町おこしお手伝いサイトや町おこしコンサルタントなどのネット情報を手懸かりにしてプロジェクトの参考とする。 ・国土交通省の観光カリスマ百選では、観光地の活性化に向けての取組があり、参考にするようにする。 ・追究プリント7につまずく生徒には、調べ方と調べた事柄を明確できるように分かることと分からないことをはっきりさせるようにする。 	<p>コンピュータを使ったり、近隣の市町村に取材に言ったりして調べることができる。</p> <p>技能・表現 追究プリント7</p>
3. 次時について話を聞く。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、解決方法についての検討と中間発表の準備を行うことを知らせる。 	

本時の学習（本時は全30時間中の15～20時間目）

1 学習目標

プロジェクト報告書とプレゼンテーションの作成と検討を行う。

2 準備・資料

追究プリント8、報告書の書式、プレゼンテーション例示資料、コンピュータ、画用紙、TP用紙等、細字用フェルトペン、プレゼンテーションソフト

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。 2. プロジェクト報告書を作成する。	10	・自分の考えたプロジェクトを報告書にまとめるとともに、発表に向けての準備を行う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>・みなさんの考えたプロジェクトを報告書にまとめましょう。また、検討会に向けて、発表の準備をしましょう。</p> </div>			
3. プレゼンテーションの準備作成を行う。	280	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたプロジェクトを報告書の書式(プリント8)を示して、まとめやすいようにする。 ・活性化するプロジェクトの具体的な特徴を意識できるようにプリント8に書き出すようにする。 ・追究プリント8でアイデアが浮かばない生徒には、ブレーストーミング法を取り入れるようにする。 ・報告書の書式には、プロジェクトの特長、有効性、考案者の願い、期日、費用等の項目を立てておくようにする。 ・具体的な計画を考えることで、プロジェクトの実現可能かどうかの判断ができるようにする。 ・自分のプロジェクトの重要な部分に意識させながらまとめられるようにする。 ・検討会に向けて、プレゼンテーションの効果的な手法について考えられるようにする。 ・前回の発表を参考にして、よりよいものになるようにする。 ・よい発表例を示して、自分の発表に生かせるようにする。 ・自分のプロジェクトの特長を「売り込む」意識を持たせるとともに、自分の計画に自信をもって取り組ませるようにする。 ・発表に際しては、コンピュータ、模造紙、カード、TP用紙などの準備をしておき、それぞれの生徒の考えに沿ったものを作成できるようにする。 ・プレゼンテーションソフトを用いて作成したものは、あらかじめ印刷しておき、掲示できるようにしておく。 ・取組の遅れている生徒には、報告書の書式より、プロジェクトのポイントや取組を参考にして発表できるように支援を行う。 ・プレゼンテーションを工夫がうまくできない生徒には、伝えたいことを明確にした絵本作りを事前準備として取り組ませて相手に分かりやすく伝えることができるようにする。 	<p>活性化するプロジェクトの具体的な特徴を考えることができる。 思考・判断 追究プリント8前半</p> <p>プロジェクトが実現可能かどうか判断することができる。 思考・判断 追究プリント8後半</p>
4. 次時について話を聞く。	10	・次時は、総務課や商工会議所などの専門家を招いて検討会を行うことを知らせる。	

本時の学習（本時は全30時間中の21～24時間目）

- 1 学習目標
 検討会を通して、大間々町活性化プロジェクトの充実を図る。
- 2 準備・資料
 発表用機材、プレゼンテーション資料、振り返りカード
- 3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。 2. 検討会を行う。	10	・プロジェクト報告書をもとに、検討会を行うことを知らせる。	
専門の人々をむかえて、大間々町活性化プロジェクトの検討会をして プロジェクトを見直そう。			
・各自で考えたプロジェクトについて発表をする。 ・それぞれの発表について質問や意見を述べる。 ・専門の人々の意見を聞く。	170	・それぞれのプロジェクトについて、発表を行い、改善に向けての意見交換を行うようにする。 ・生徒同士での意見交換でも、視点を政治や経済、産業面と実現性において検討ができるようにする。 ・役場の総務課や商工会議所、社会福祉協議会、商店、お年寄り、PTA役員などをむかえて、それぞれの立場で、意見を述べてもらうようにする。 ・現実社会での厳しさや問題点について、率直に意見を述べてもらい、生徒の考えを深められるようにしたい。 ・それぞれのプロジェクトの発想や企画の面白さ、豊かさ気付けるとともに、問題点にも目を向けさせてプロジェクトの充実を図るようにする。 ・プロジェクトの充実が目的であり、うまくできなかったものについては、この後の時間で再検討をすることを知らせる。 ・今後については、全体の検討会をもたず、個別に意見などを聞けるように準備しておく ・ほかのプロジェクトにおける意見なども参考にしながら、よりよい計画になるようにする。	プレゼンテーションを行い、分かりやすく伝えることができる。 技能・表現 プレゼンテーション資料
3. 本時の感想を書く ・次時について話を聞く。	20	・発表を終えての感想を、人とのつながりに目を向けて書けるようにする。 ・振り返りカードがなかなか書けない生徒には、今までの活動やゲストティーチャーから学んだことを話し合わせて気付けるようにする。 ・次時は、プロジェクトの見直しと充実に向けての活動を行うことを伝える。	大間々町の活性化に向けて、役場や商工会などの人々の思いや願いと経済面、政治面などの難しさに気付くことができる。 知識・理解 振り返りカード

本時の学習（本時は全30時間中の25～26時間目）

1 学習目標

大間々町活性化プロジェクトの充実に向けて、再検討をする。

大間々町活性化プロジェクトの実施に向けて、準備を行う。

2 準備・資料

追究プリント9、最終報告書

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。	10	・検討会の結果をもとにしてプロジェクト報告書の見直しを行うことを知らせる。	
大間々町活性化プロジェクトの実施に向けて、見直しや改善を行ってください。 完成したのものについては、活動に向けての行動を開始してください。			
(1) 大間々町活性化プロジェクトの充実を図る。 (2) 大間々町活性化プロジェクトを実行する。 ・広報活動 ・実践活動	80	・報告書が評価されたものについては、実施に向けての準備を行う。 ・検討会で話し合われた内容を各検討の視点を絞り込み、各プロジェクトを再検討するようにする。 ・追究プリント9において、自分の新たな課題に気付けない生徒に対しては、経済面や地域への貢献度に着目して、自分のプロジェクトを検討できるようにする。 ・生徒だけでは、なかなか解決できないような課題が生じた場合は、プロジェクトの大幅な見直しや変更なども視野に入れて支援できるようにする。 ・報告書の見直しや充実を図る場合は、できあがったものをもう一度担当職員や専門の人々に見てもらおうことができるようにする。 ・学校外の方との連絡は、都合がよければ直接に出向いていくか、都合が悪い場合はメールや電話、Faxなどを用いるようにする。 ・改善に向けて、新たな取材や調査等が必要な場合は、前回の活動同様に連絡を行い許可をとったり、電話による取材を行ったりできるようにする。 ・再度の検討でも、政治・経済・産業、実現の可能性をしっかりと意識させるようにする。 ・プロジェクトの実施には、たくさんの仲間や人々の理解や援助が必要であることに気付かせたい。 ・校外での活動等については、事前の連絡や許可を受ける必要があることを確認する。 ・清掃活動、訪問活動、募金活動などの活動が考えられる。 ・準備するものについては、各自でできるだけ準備できるようにする。必要に応じて、学校にあるものを利用できるように準備しておく。 ・プロジェクト最終報告書で実現性が見られない生徒には、具体的な取組を意識しながら机上での話し合いを深めるようにする。	検討会をもとに、プロジェクト報告書を再検討している。 思考・判断 追究プリント9 プロジェクトの実現に向けての最終報告書を作成している。 思考判断 最終報告書
3. 次時について話を聞く。	10	・次時は、プロジェクトを実行することを伝える。	

本時の学習（本時は全30時間中の27～30時間目）

- 1 学習目標
大間々町活性化プロジェクトの実施に向けて、活動する。
- 2 準備・資料
振り返りカード2、参加承諾書、協力依頼書
- 3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の評価規準及び評価方法
1. 本時の学習内容を知る。 2.	10	・大間々町の活性化に向けてプロジェクトを実行することを知らせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 大間々の活性化に向けてみんなでプロジェクトを成功させよう。 </div>			
大間々活性化プロジェクトを実行する。 ・広報活動 ・実践活動	160	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの実施には、たくさんの仲間や人々の理解や援助が必要であることに気付かせたい。 ・各プロジェクトに互いに協力したり、参加したりして活動を広げられるようにする。 ・校外での活動などについては、事前の連絡や許可を受ける必要があることを確認する。 ・学校外での活動などもあるので、学校長の許可を取るとともに、関係機関との連絡を図るようにする。 ・保護者の協力も得られるように参加承諾書や協力依頼書などを事前に配布する。 ・清掃活動、訪問活動、募金活動などの活動が考えられる。 ・準備するものについては、各自でできるだけ準備できるようにする。必要に応じて、学校にあるものを利用できるように準備しておく。 ・活動を通して、たくさんの人と触れ合うようにして、心の交流ができるようにしたい。 ・郷土を誇りに思う気持ちや大切にすることを養えるようにしたい。 ・常時活動場所と活動の状況を報告できる場所を確保して、自分が郷土のために行動しているといった充実感をもたせるようにしたい。 	町の活性化に向けて、積極的に行動している。 関心・意欲 見取り
3. 本單元についての感想を書く。	30	<ul style="list-style-type: none"> ・大間々町活性化に向けての活動を通して自分で考えられたことややってみて思ったことなどをとら自分のこれからの生き方を考える。 ・振り返りカード2がなかなか書けない生徒には、今までのファイルを見直して自分の行動と気づきを再確認できるようにする。 	町の活性化について、町の人々の取組に気づき自分のこれからの生き方を考える。 知識理解 振り返りカード2